

コード番号 C701

受講料	【選択】美術教科指導者のための古典素描から応用へ				
開設日時	8月8日(火)	担当講師	安達 博文		
会場	富山大学(高岡キャンパス)	募集人数	15人	時間数	6時間
認定対象職種	教諭	主な受講対象者	美術科教諭又は美術指導担当教諭		
受講料	6,000円	受講料以外の経費	なし		
講習の概要 16世紀から18世紀ごろまで、ヨーロッパで盛んに用いられた有色地を活かしたハイライトデッサンを制作する。これは、紙の白色を活かす描法ではなく、画用紙の中間調子を活かして暗部と明部の描き起しを行う描法を体験し、視点を変えたデッサンを試みることで、美術全般への興味付けや専門分野への応用を考える。					
到達目標及びテーマ 実技を通して美術におけるいろいろな技法や道具、材料等の知識を深め、授業を幅広く行うための技術の習得と応用を身に付ける事を目的とする。					
講習の授業計画 ◎描画を通して美術全般への展開と興味付けを考える。 1. (9:00-10:00) 講義 美術教育全般の中での描画の位置づけ。 2. (10:10-11:10) 演習 支持体へ下拵えー水張りをした画用紙に茶色の不透明水彩絵の具を塗布。 3. (11:20-12:20) 演習 ①描画・素描実技の展開ーチャコールペンシルでモチーフ(靴)の暗部を描く。 4. (13:20-14:20) 演習 ②描画・素描実技の展開ーチャコールペンシルでモチーフ(靴)の暗部を描く。 5. (14:30-15:30) 演習 ③描画・素描実技の展開ーチャコールペンシルでモチーフ(靴)の暗部を描き上げた後、白色コンテでハイライト部分を描き入れ、完成。 6. (15:40-16:40) 講評/課題提出					
テキスト	当日、プリント及び資料を配付する。				
参考資料等	当日、適宜提示する。				
修了認定(試験)の方法	実技考査				
留意事項 (各自で準備するものなど)	カッターナイフ、モチーフの靴(片方の靴のみが良いが、靴紐がある履き古した皮靴。又はスニーカー、バスケットシューズでも良い。)を必ず持参すること。				
備考					